

宜野湾市

地域学校 協働本部名

宜野湾市地域学校協働本部

小学校9校

(普天間小学校、普天間第二小学校、大山小学校、大謝名小学校、嘉数小学校、志真志小学校、宜野湾小学校、長田小学校、はごろも小学校)

中学校4校

(普天間中学校、真志喜中学校、嘉数中学校、宜野湾中学校)

◆代表的・特徴的な活動

特別支援学級イベントサポート

ミシン授業補助

夏休み絵画教室

まち探検引率

エイサー指導

放課後学習支援

平和集会講師

水泳見守り

給食配膳サポート

クラブ活動講師

運動会衣裝修復

健診サポート

手縫い実習サポート

新体力テストサポート

「浮いて待て」指導

地域施設訪問支援

絵画ポスターコンクール

盲導犬ふれあい体験

環境講話

道徳教科支援

不登校傾向生徒の体験活動

ミニデイサービス参加交流

放課後の居場所づくり

職場体験受入れ先探し

環境講話



「浮いて待て」指導



放課後の居場所づくり



◆工夫していること

- ・コーディネーター連絡会において、情報交換を図り、活動の活性化に努めている。
- ・学校管理職OBの統括コーディネーターとともに学校訪問し、学校と地域について、意見交換・情報共有するよう努めている。
- ・市長部局と連携して開催した「ぎのわん地域づくり塾」にコーディネーターが積極的に参加し、地域のことについて、学び合いを深めている。



ぎのわん地域づくり塾

◆成果(○)と課題(☆)

○【コ】コーディネーター間においてSNS等の活用により情報共有がスムーズになっている。
また、コーディネーター間のサポートも増えてきている。

○【教委】統括コーディネーターとともに学校と意見交換・情報共有したことが、全小中学校への地域コーディネーター配置につながった。

石垣市

地域学校 協働本部名

石垣市地域学校協働本部

小学校6校

(新川小学校、真喜良小学校、石垣小学校、八島小学校、登野城小学校、吉原小学校)

中学校4校

(石垣第二中学校、川平中学校、富野小中学校、白保中学校)

◆代表的・特徴的な活動

○学習支援等の実施

【二中未来塾】(数学・希望によっては理科のサポート)

申込生徒数 15名 学習支援員 1人

毎週木曜日 16:00~18:00

毎週日曜日 14:00~16:00

【川平中学校未来塾】(数学・英語のサポート)

申込生徒数 10名 学習支援員 2人

毎週月曜日(数学) 16:15~17:45

毎週水曜日(英語) 16:15~17:45

【富野中学校PTA未来塾】(英語のサポート)

申込生徒数 4名 学習支援員 1人

毎週水曜日 15:30~17:30

【白保中学校未来塾】(個別指導形式の(自学学習をベースとした)学習支援を行う。)

申込生徒数 59名 学習支援員 1人

毎週火曜日 16:30~18:00

毎週土曜日 14:00~17:00

【石垣小学校 地域学校協働活動】(スマム二学習)

申込生徒数 6名 学習支援員 1人

毎週水曜日 15:00~16:00



◆工夫していること

- ・これまでは受験対策として中学3年生を対象に未来塾を実施していたが、毎日の学習習慣の定着を目標とし、1~3年生を対象とした。
- ・小規模校(小・中併置校)で未来塾を実施。小学生に声掛けしたところ数人の参加があり、中学生と一緒に英語の学習をしている。
- ・未来塾開催について、校内にポスター・チラシで生徒へ周知。学校のメールで、保護者へ未来塾開催、日程を周知してもらった。

◆成果(○)と課題(☆)

- 【児童】わからないところをわかるまで教えてくれるから、苦手意識が減って自信がついた。
- 【保護者】家ではあまり勉強をしていなかったが、未来塾のおかげで少しは勉強するようになった。

☆毎年、学習支援員と使用する教室の確保に困っている。

浦添市

地域学校 協働本部名

浦添中学校区地域学校協働本部(浦添中、浦添小、前田小)
 仲西中学校区地域学校協働本部(仲西中、仲西小、浦城小、宮城小)
 神森中学校区地域学校協働本部(神森中、神森小、内間小、沢岨小)
 港川中学校区地域学校協働本部(港川中、牧港小、港川小)
 浦西中学校区地域学校協働本部(浦西中、当山小)

◆代表的・特徴的な活動

- ・2年生総合学習「地域の歴史や文化、伝統芸能等を学ぶ」で浦添織、組踊、前田棒、琉球漆器、獅子舞を学んだ。(浦添中)
- ・伝統芸能(前田棒、仲西獅子舞、エイサー)を習い運動会で披露した。(前田小、仲西小)
- ・創立140周年事業蝶園の運営アドバイザー(オオゴマダラの飼育支援)継続(浦添小)
- ・新入生の給食準備支援とコース別下校支援(浦添小)
- ・わくわく防災教室(5年生)(浦添小)
- ・サトウキビを育てる体験活動、稲刈り・脱穀体験活動(前田小)
- ・読み聞かせボランティア「大きなかぶの会」の継続的活動が評価され「沖縄県読書活動優秀実践校」を受賞(前田小)
- ・朝の読み聞かせ、交通安全ボランティアの配置(全校)
- ・学校周辺や校内の草刈り、剪定、花壇の整備(全校)
- ・地域の今、昔を知る学習を地域人材を活用して行った。(浦城小)
- ・三線クラブ、料理クラブで地域の方々に協力をいただいている。(内間小)
- ・近隣の書道教室の講師を招いて書道の初歩指導(宮城小)
- ・地元青年会によるエイサー指導(宮城小、浦西中)
- ・地域自治会や児童センターと連携してお祭りや防災教室など子どもの居場所作りをしている。(当山小)
- ・地域ラジオ体操へ中学生がリーダーとして参加し運営に協力(浦西中)
- ・探究活動(総合的な学習)への地域企業による教師や生徒への助言(浦西中)
- ・毎週月曜日に放課後学習(じんぶんクラブ・パソコンクラブ)に参加した生徒に軽食提供(神森中)
- ・朝の読み聞かせ、地域企業との連携、総合学習(カーミージー探検隊→環境学習)で専門家による連携した学習(港川小)
- ・地域自治会のイベントや作業に生徒が出向きボランティアで支援活動を行った。(港川中)



↑読み聞かせ(前田小)

◆工夫していること

- ・地域人材活用計画表を作成し職員間で行事等における外部人材の情報を共有している。
- ・地域連携担当と地域コーディネーターが情報交換をしている。
- ・HPで随時活動報告を発信し、情報共有しやすい環境を作っている。
- ・お礼の手紙や「ありがとう集会」を通して児童生徒・職員からの感謝を伝えるようにしている。
- ・総合学習(職業人講話)では講話内容(職業観、仕事の適正、中学校での学び等)を講師に伝え統一感のある講話を依頼した。
- ・ボランティアの生活環境(高齢、一人暮らし)にも配慮し、まめに連絡をとっている。
- ・学校運営協議会で取組や課題を共有し協力者を探したりその後の活動につなげている。
- ・ボランティア活動が継続できるよう情報交換の場を設けている。

◆成果(○)と課題(☆)

- 地域学校協働本部内の連携がとれボランティアの情報共有、成果・課題の共有から新しい取組ができた。
- 朝の挨拶運動により親子ともに声かけやすさが生まれ関係性がよくなり深まりもできた。
- 地域企業が学校との連携を快く引き受け、そのことにより児童の地域への理解が深まった。
- ☆ボランティアや地域コーディネーターの人材発掘のための学校独自のマニュアル作成
- ☆活動の内容によって、ボランティアの人数調整や日程調整が難しい場合がある。
- ☆ボランティアの方々の集う場所(地域連携室)の確保と充実を図りたい。
- ☆生徒が地域に出向きボランティア活動をする際の安全確保(夕方から夜、長時間等の対策)
- ☆学校教育に地域の特性を組み込んでいくためには理解や協力など時間がかかる。

名護市

地域学校 協働本部名

緑風学園学校運営協議会、屋我地ひるぎ学園学校運営協議会、大北小学校学校運営協議会、名護小学校学校運営協議会、名護中学校学校運営協議会、羽地中学校区学校運営協議会、東江中学校区学校運営協議会、大宮中学校区学校運営協議会、屋部中学校区学校運営協議会、久辺中学校区学校運営協議会

◆代表的・特徴的な活動

【授業】

～総合学習～

- ・自然体験学習(磯歩き、カヤック、川探検、マングローブ観察など)
- ・地域を歩いての平和学習および地域学習 ・移民学習 ・平和学習講話
- ・茶摘み体験学習(稲田小) ・課題解決型学習および商品開発 ・福祉体験学習

～教科のサポート・見守り～

- ・体育(タグラグビー、ハンドボール、跳び箱、水泳)、家庭科(魚捌き体験)
- ・昔遊び授業の講師 ・校内畑づくり協働作業 ・英語授業参加(久辺小)
- ・プログラミング学習(久辺中) ・美術(稲田小)

～キャリア教育～

- ・ジョブシャドウイング ・職場体験学習 ・マナー講座 ・職業人講話
- ・語れー会 ・ライフプラン学習
- ・金融教育

【安心・安全】

- ・登下校時安全指導 ・PTA、地域による環境整備作業
- ・校区内パトロール ・交通安全教室・避難訓練(地震・津波)

【そのほか】

- ・朝の読み聞かせ ・部活動指導
- ・サイエンスクラブ ・放課後の居場所づくり
- ・地域清掃 ・地域行事や交流会への参加



◆工夫していること

【学校・家庭・地域】めざす子ども像を共有し、授業や地域学校協働活動に取り組んでいる。

【学校運営協議会】校区内の地域教育資源や地域人材の共有、リストの作成・更新を行った。

【学校・地域】学校や地域の様子を共有するため、学校だよりと区民広報等を相互に掲示・配布した。

【学校・地域】地域学習と地域貢献活動を組合せ、学びを意識した「地域交流活動」に取り組んだ。

【教委】統括地域学校協働活動推進員の配置・各校担当の推進員を委嘱し、月1回情報交換や研修を行っている。

◆成果(○)と課題(☆)

○【学校】新しい地域学校協働活動の取組が増え、地域の協力者の発掘ができた。

○【学校】「総合的な学習の時間」において地域の資源や人材の活用が進んだ。

○【学校】中学校区での学びの系統性や連続性が意識されるようになり、小中・小小が連携した取組が行われるようになった。

☆【地域学校協働活動推進員】学校との情報共有や地域連携にかかる定期的な調整の場の設定

☆【学校運営協議会】地域学校協働活動の体制づくり

☆【教委】教職員・保護者・地域住民に対するコミュニティ・スクールの理解促進の取組(研修・熟議等)

糸満市

地域学校 協働本部名

兼城中学校区地域学校協働本部(兼城小・兼城中)
糸満中学校区地域学校協働本部(糸満小・糸満南小・糸満中)
高嶺中学校区地域学校協働本部(高嶺小・高嶺中)
三和中学校区地域学校協働本部(真壁小・喜屋武小・米須小・三和中・大度分校)
西崎中学校区地域学校協働本部(西崎小・光洋小・西崎中)
潮平中学校区地域学校協働本部(潮平小・潮平中)

◆代表的・特徴的な活動

- ・クラブ活動
(習字、折り紙、手芸、三線、昔遊び、琉舞、生け花、
しまくとうば、バドミントン、手話、エイサー、ティーボール、
英会話、ダンス、将棋、イラスト、ハーレー)
- ・平和学習
- ・地域学習
- ・町たんけん
- ・昔遊び
- ・工場見学
- ・そろばん
- ・書写、書初め
- ・職業インタビュー
- ・福祉講話



地域学習(兼城小)



平和学習(高嶺中)

◆工夫していること

- ・他校区のコーディネーターとの連携及び情報交換
- ・今後も継続的に協力していただきたいので、講師側への配慮にも気を付けている。
- ・メールやラインなど連絡の取りやすい方法で、ボランティアさんや学校と連絡をとるようにしている。

◆成果(○)と課題(☆)

- 【学校】専門的な指導、個別指導、押さえるべきポイントを指導してもらい助かった。
- 【ボ】子どもたちが地域に目を向けるいい機会になった。
- 【コ】学校の希望する講師をコーディネートでき、よい授業となった。

- ☆【教委】新規ボランティアの発掘、地域コーディネーターの予算の確保
- ☆【教委】全中学校へのコーディネーターの配置

沖縄市

地域学校 協働本部名

越来小学校区地域学校協働本部、他23区地域学校協働本部
(コザ小学校区、中の町小学校区、安慶田小学校区、諸見小学校区、島袋小学校区、山内小学校区、北美小学校区、美里小学校区、美東小学校区、宮里小学校区、高原小学校区、室川小学校区、美原小学校区、泡瀬小学校区、比屋根小学校区、越来中学校区、コザ中学校区、山内中学校区、美里中学校区、美東中学校区、安慶田中学校区、宮里中学校区、沖縄東中学校区)

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の読み聞かせ・メルヘンタイム〈コザ小学校〉・エイサー地謡指導〈山内小学校〉
- ・水難事故防止団体「浮いて待て」の講習〈中の町小学校〉
- ・卒業生へ生花コサージュ作製指導〈島袋小学校〉
- ・町たんけん〈美里小学校〉・インタビュー授業協力〈宮里小学校〉
- ・書写・太鼓指導〈美東小学校〉・鳥刺舞指導、エイサー衣装着付け〈高原小学校〉
- ・地域ボランティア講師による「命の授業」〈美原小学校〉〈越来中学校〉
- ・地域の方が教える「昔からの遊び」〈泡瀬小学校〉
- ・体育祭の生徒のハチマキや卒業生へのメッセージ入りお守りの作成〈コザ中学校〉
- ・ボランティア新聞を作成し、学校掲示板やスクリーン、ホームページ等で発信
〈美里中学校〉〈美東中学校〉〈山内中学校〉
- ・朝の交通安全指導、クラブ指導、読み聞かせ、環境美化等〈各校〉



鳥刺舞指導(高原小学校)



生花コサージュ作製指導(島袋小学校)



昔からの遊び(泡瀬小学校)

◆工夫していること

- ・各学校・団体との緊密な連携のため、職員やスタッフ、ボランティアの方たちと定期的に情報交換会を開いている。
- ・ボランティアの方たちとの連絡に、グループLINEを活用している。
- ・ボランティア新聞を作成し、活動状況を発信している。
- ・地域の方々と情報交換や協力関係の維持を図り、自治会・子ども会のイベント開催をスクリーンで周知している。
- ・ボランティアの方々を感謝集会へ招待し、児童手作りの感謝状と贈り物で日頃のお礼を伝えている。
- ・各自治会に協力を依頼し、職場体験活動を実施している。
- ・学校で配布する徴収金袋に、ボランティア募集広告を印刷している。

◆成果(○)と課題(☆)

- 朝の交通安全指導割当表を自由配置にしたので、これまで大人が居なかった場所に立つ保護者が増えた。
- 【学校】朝の登校活動等ボランティアの方たちからの指導で、横断歩道を渡る際の生徒の挨拶お礼・お辞儀が当たり前になってきている。
- 【学校】朝の学習サポートや読み聞かせ等、ボランティアの方たちからの協力で、児童の朝の活動が充実している。
- 【学校】地域美化作業は、学校周辺や校内の環境美化に大きく貢献している。
- ☆【推】地域連携室等がないため、ボランティアの方たちの交流や事前の打合せなどがしにくい。
- ☆【学校】【推】活動によって偏りがあるので、ボランティア人材の確保と維持のため、周知活動が必要である。

豊見城市

地域学校 協働本部名

豊見城市地域学校協働本部
市内8小学校・4中学校
(上田小、長嶺小、座安小、豊見城小、伊良波小、とよみ小、豊崎小、ゆたか小、豊見城中、長嶺中、伊良波中、豊崎中)

◆代表的・特徴的な活動

- ・クラブ活動の講師(三線、折り紙、書道、昔遊び、しまくとうば、英語、サッカー、陸上、ダンス、手芸、イラスト、五色百人一首、ウクレレ、手話、音楽、琉球舞踊、空手、エイサー、ものづくり、工作)
- ・地域講話(豊見城市を知る)
- ・平和講話
- ・ミシン指導
- ・水泳見守り
- ・読み聞かせ
- ・陸上指導
- ・市内巡りガイド
- ・町たんけん受け入れ
- ・環境美化(花壇の手入れ等)
- ・朝の交通安全指導
- ・職業講話
- ・市の特産物に関する講話
- ・書写指導、書初め会指導
- ・海洋ごみに関する講話
- ・じゃがいも、野菜植え付け指導
- ・しまくとうば講話 ・リサイクル体験
- ・ごみの行方講話 ・大学生の学習支援
- ・物づくりに関する見学



4年～6年 手話クラブ



4年生リサイクル体験

◆工夫していること

【学校】

- ・年間計画をもとに、学校職員に積極的にボランティアの活用を呼びかけ、計画的に連絡や調整を行っている。
- ・日常の学習や学校行事と関連づけながら取り組めるようにしている。
- ・できるだけ地域人材を活用し、子どもたちの自校愛や地域愛を高めるようにしている。

【本部】

- ・活動継続のため、学校とボランティア調整を綿密に行った。
- ・教育委員会主催のボランティア研修会及び感謝の会を開催した。
- ・生涯学習フェスティバルや公民館の掲示コーナーで、活動紹介を行い事業周知につなげた。

◆成果(○)と課題(☆)

- 【学】教師の負担軽減とともに、学習のねらいを達成することができた。
- 【学】専門的な知識を持っている方からご指導いただき、子どもたちが学習や活動に対して意欲的に取り組むことができた。
- 【学】児童の意欲向上につながっている(クラブ活動、各学年の学習活動)。
- 【学】学生ボランティアがいることで、保健室で学習している児童に関わることができ、個別指導が充実した。
- ☆【学】ボランティアの先生方を迎えるための準備に時間がかかる。
- ☆【学】事前打ち合わせの時間を確保するのが難しい。
- ☆【本】内容によってボランティアを確保するのが難しく、依頼に応えられない場合がある。

うるま市

地域学校 協働本部名

宮森小学校地域学校協働本部、他25地域学校協働本部
(城前小学校、伊波小学校、与那城小学校、南原小学校、勝連小学校、平敷屋小学校、川崎小学校、天願小学校、あげな小学校、田場小学校、具志川小学校、兼原小学校、高江洲小学校、中原小学校、赤道小学校、石川中学校、伊波中学校、与勝中学校、与勝第二中学校、あげな中学校、具志川中学校、高江洲中学校、具志川東中学校、津堅小中学校、彩橋小中学校)

◆代表的・特徴的な活動

- ・交通安全指導・部活動指導・環境整備・読み聞かせ・学習支援(平和学習・家庭科授業補助・昔遊び体験・稲作体験)・給食配膳補助・学校行事運営補助・地域未来塾
- ・PTA主催のふれあいまつり(保護者・学校・地域とふれあう行事)(伊波小学校)
- ・地域学習(校外学習・地域巡り)(南原小学校・具志川小学校・兼原小学校)
- ・平和学習における朗読劇および講演会(高江洲小学校)
- ・エイサー指導(中原小学校・石川中学校・与勝第二中学校・あげな中学校)
- ・人参収穫体験(津堅小中学校)・校区探検(平敷屋小学校)
- ・地元の介護施設との交流(津堅小中学校)・道ジュネー補助(石川中学校)
- ・公民館と連携事業(自治会行事・美化作業等)(あげな中学校)
- ・自治会10字の広報誌を学校に掲示(あげな中学校)
- ・各自治会による定期的な見回り活動(高江洲中学校)



平和学習での朗読劇
(高江洲小学校)



道ジュネー補助
(石川中学校)



人参収穫体験
(津堅小中学校)

◆工夫していること

- ・地域コーディネーターが、季節に応じたものを提供してくれる。(七夕のささ等)(宮森小学校)
- ・各自治会と管理職・PTA事務・地域コーディネーター等で、情報交換を行っている。
(与那城小学校)
- ・老人会員へ朝の交通安全見守りの協力依頼、当番表に付き予定表表示してわかりやすくして作成し、届けている。(あげな小学校)
- ・読み聞かせメンバーへ毎月協力依頼を行っている。(兼原小学校)
- ・安全登校サポートメンバーや読み聞かせメンバーのグループラインで情報共有を行っている。
(高江洲小学校)
- ・読み聞かせでは、状況に応じてICTを活用しながら実施している。(赤道小学校)
- ・年度初めに、校長、教頭が自治会をめぐり挨拶を行う。(自治会と学校の連携がスムーズに行えるように実施)(あげな中学校)

◆成果(○)と課題(☆)

○【学校】スクリレを活用して、小学校、中学校へボランティア募集の案内をし、ボランティアが増えた。

○【コ】コーディネーターがいることで、地域との連携が取りやすくなっている。

☆【学校】卒業生の保護者のボランティアが多く、在校生の保護者が少ないので、下に繋げるためには増やしていかないとけない。

☆【学校】新たな地域人材の発掘

宮古島市

地域学校 協働本部名

宮古島市地域学校協働本部（平良第一小学校、南小学校、北小学校、東小学校、久松小学校、鏡原小学校、西辺小学校、狩俣小学校、池間小学校、伊良部島小学校、平良中学校、北中学校、池間中学校、城東中学校、伊良部島中学校）

◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の読み聞かせ
- ・登校時の交通安全指導
- ・下校時パトロール
- ・放課後子ども教室
- ・学校周辺のゴミ拾い



登校時の交通安全指導
(平良中学校)



朝の読み聞かせ(平一小学校)



学校周辺のゴミ拾い
(平一小学校)



下校時パトロール
(南小学校)



朝の読み聞かせ(南小学校)

◆工夫していること

活動修了後は、毎回スタッフ一同と交流会をもつことで諸々の改善点を踏まえ、次回に繋ぐことができている。

◆成果(○)と課題(☆)

○【コ】地域協働活動について、ボランティアスタッフと共に、継続して活動ができている。

○【教委】地域コーディネーターを中心としたボランティアの方々の協力のもと、朝の読み聞かせ、登校時の交通安全指導、下校時パトロールなど、継続して活動ができている。

☆【コ】放課後子ども教室の実施校が2校にとどまっているので、他校にも広げていけるよう学校と実施に向けて調整したい。

☆【教委】放課後子ども教室について、余裕教室が無い学校でも、実施する方法や場所を引き続き検討する必要がある。

南城市

地域学校 協働本部名

南城市地域学校協働本部

玉城中学校、知念中学校、久高中学校、佐敷中学校、大里中学校
玉城小学校、船越小学校、百名小学校、知念小学校、久高小学校
馬天小学校、佐敷小学校、大里南小学校、大里北小学校

◆代表的・特徴的な活動

【今年度の特色ある取組】

南城市では、地域の実情に即した課題や取組をより現実的に進めるために、今年度から地域学校協働本部運営委員会の実施方法を改め、4つの地区(玉城、佐敷、大里、知念)で「まちづくり交流会」を開催し、地域の課題や学校との意見交換を実施した。

夏休み期間中に地元の大学生や高校生の協力を得て、各小中学校で「夏休み補充学習」を開催した。夏休みに実施することによって、普段子どもたちと関わる機会が少ない高校生も参加でき、世代間交流を図りながら学力向上に貢献することができた。

【学校で取り組んでいる主な活動】

- ・企業ミッション型PBL
- ・朝時間の職業講話
- ・ふるさと伝統芸能祭り
- ・海野漁港でセリの見学
- ・書初め指導
- ・おしごと調査隊
- ・朝の交通安全指導(スクールガード)



ふるさと伝統芸能まつり



海野漁港のセリ見学

◆工夫していること

・コミュニティ・スクールを進める上で、地域住民の理解を深めるために、地域ごとに区長や保護者、事業者等への説明会や意見交換会を実施している。

・南城市では、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の取組を広く知ってもらうために、インスタグラムを立ち上げた。将来的には、このプラットフォームを活用して、協力してくれたボランティアや企業、事業者のPR活動も行い、地域全体の活性化につなげていく。

・毎週地域コーディネーターとの定例会(情報交換)を開催し、それぞれで取り組んでいる活動や人材の共有などコーディネーター同士一体感を持ちながら取り組んでいる。

◆成果(○)と課題(☆)

○ まちづくり交流会を各地区で開催し、コミュニティ・スクールの制度を理解する機会や地域の課題を拾い上げる機会を作ることができたことは、非常に良かった。引き続き、まちづくり交流会と学校運営協議会がうまく連動できるようコーディネーターを中心に取り組んでいく。

☆ コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の取組において、地域住民や地域団体がどう関わりながら学校に携わっていくかが課題となっているため、今後も意見交換を交わしながら、地域の実情に合った仕組みを築いていきたい。